

下水道を利用しましょう

お風呂の水200杯分一。
 天ぷら油200[㍓] (牛乳瓶1本分) を川に流した場合、コイやフナなどの魚が住めるような水質に戻すために必要な水の量です。(1杯当たり300[㍓])

わたしたちの生活には、水が欠かせません。わたしたちは家庭からたくさんの汚れた水を吐き出しています。これが、下水道を通さず、直接、川や海に流れ込んでいるとしたら、どうでしょうか。

今、皆さんの家庭から出る汚れた水が少しずつ川を、海を汚しはじめています。水が汚れると、魚が住めなくなったりして、久慈市の大切な産業である漁業や農業、暮らしに大きな影響をおよぼします。

川や海で遊ぶことすらできなくなるかもしれません。

下水道は、みんなが使用して初めて効果があります。

1日も早い下水道の使用をお願いします。あなたの子や孫が、いつまでもこのきれいな川や海で遊べるように、おいしい魚が食べられるように。

9月10日は下水道の日 10月1日は浄化槽の日

下水道の働きは？

- ①川や海をきれいにします。生活排水を浄化センターできれいに自然に帰すので川や海がきれいになります。
- ②生活環境を改善します。生活排水は下水道管に集められます。
- ③水洗トイレが使えます。トイレの悪臭が無くなり、汲み取りによる悪臭で近所に迷惑を掛けません。

るので悪臭が無くなり、蚊やハエの発生を防ぎます。
 ③水洗トイレが使えます。トイレの悪臭が無くなり、汲み取りによる悪臭で近所に迷惑を掛けません。

水道に流すための工事を行います。トイレは3年以内、台所や浴室などは6カ月以内に行うように下水道法や市の条例で定められています。工事の費用は、配水管の長さや埋める場所の状態、水洗便器の選び方などで大きく異なります。参考までに、平成18年度に行われた工事の平均額は約66万円でした。詳しくは、

市は、この工事の費用に補助しています。補助金額は、5人槽で46万9000円、7人槽で58万8000円です。予算に限りがありますので、事前に下水道課へご相談ください。

市は、この工事の費用に補助しています。補助金額は、5人槽で46万9000円、7人槽で58万8000円です。予算に限りがありますので、事前に下水道課へご相談ください。

市は、この工事の費用に補助しています。補助金額は、5人槽で46万9000円、7人槽で58万8000円です。予算に限りがありますので、事前に下水道課へご相談ください。

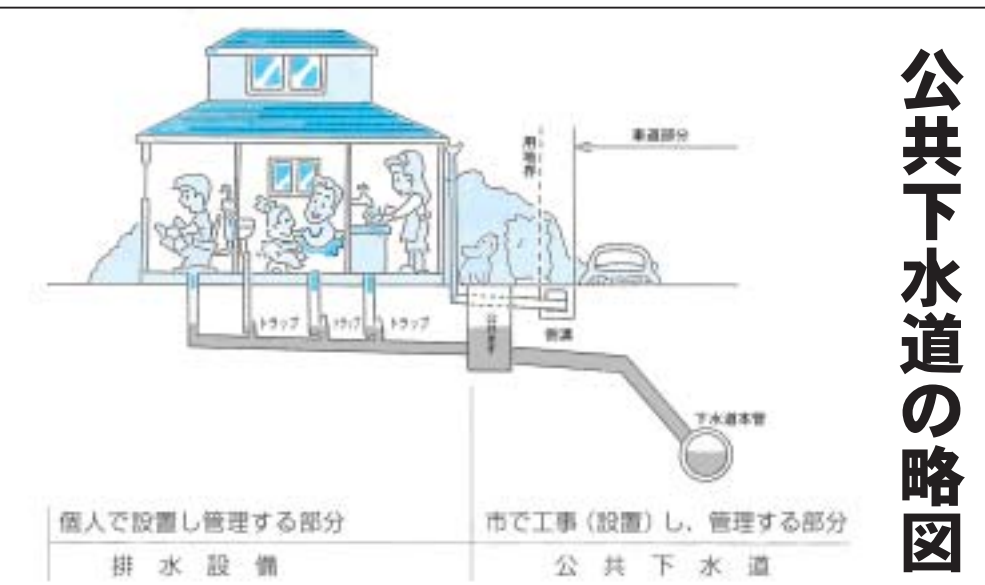
市は、この工事の費用に補助しています。補助金額は、5人槽で46万9000円、7人槽で58万8000円です。予算に限りがありますので、事前に下水道課へご相談ください。

市は、この工事の費用に補助しています。補助金額は、5人槽で46万9000円、7人槽で58万8000円です。予算に限りがありますので、事前に下水道課へご相談ください。

整備を進めています。
 漁業集落には、漁業集落排水施設を整備。これまでに麦生、横沼、川津内(待浜本町、向町)、外屋敷、久喜で供用開始しています。現在は、桑畑、小袖地区で整備を進めています。供用開始となっています。

る区域の方は、できるだけ早く接続しましょう。それ以外の地域では、合併処理浄化槽を設置しましょう。合併処理浄化槽は、台所やお風呂の生活排水をし尿と一緒に処理できる装置で、敷地内に埋め込む工事が必要です。

市は、この工事の費用に補助しています。補助金額は、5人槽で46万9000円、7人槽で58万8000円です。予算に限りがありますので、事前に下水道課へご相談ください。



平成4年に供用開始された公共下水道は、約9,800人が使える状態になっています。これまでに供用開始されているのは、久慈川北部では、栄町から湊町の久慈川沿いと天神堂、門前のそれぞれ一部です。久慈川と長内川に囲まれた中部地区では、荒町から川崎町と柏崎、田高の一部です。長内川南部では、東広美町から諏訪下までの地域です。(詳しく知りたい方は、下水道課へお問い合わせください)
 本年度は、田高、門前、天神堂、川貫、西の沢の一部を整備しています。供用開始は来年4月の予定です。

公共下水道の略図

用語解説

公共下水道：主に市街地の家庭や工場からの下水を処理するために地方公共団体(市など)が管理する下水道で、終末処理場があるものです。同じように、下水を処理するもので漁業集落排水事業、合併処理浄化槽があります。公共下水道を利用できる区域を「供用開始区域」と言います。
漁業集落排水事業：公共下水道は市街地を中心に下水を処理するのに対し、漁業集落排水事業では漁業集落の中に汚水処理施設を作り、下水をそこで処理するものです。
排水設備：家庭の台所や風呂、洗面所、トイレなどの汚水を下水道に流すための施設のこと(配水管、水洗便器など)です。排水設備は、個人の負担で設置いただくものです。工事は、市の排水設備工事指定店でなければ施工できません。

コミュニティ助成事業 地域を応援します!

(財)自治総合センター(二橋正弘理事長)が実施するコミュニティ助成事業により、田中町内会(田中正七会長)と関自治会(関利行会長)が助成を受けました。

同事業は、地域住民の行う地域活動を推進するためのもので、宝くじの普及広報費用が財源となっています。

【町内会活動用備品】
 田中町内会
 田中町内会では、放送設備一式、テント2張、ガス赤外線グリラー1台、屋外トイレ1台を整備しました。町内会の行事などに活用されています。

【太鼓、バチ】
 関自治会
 関自治会では、太鼓とバチを15組整備しました。地域の伝統芸能継承活動に活用されています。

■コミュニティ助成事業って?
 (財)自治総合センターが、宝くじの受託事業収入を財源として、地域で行う事業や活動に必要な施設・設備の整備を助成する制度です。対象は主に町内会や自治会などです。地域活動に必要な設備(除雪機や視聴覚機器など)の整備や、植樹、コミュニティセンターの建設などができます。申請の募集は、行政連絡区長を通じて町内会長などにお知らせしています。